

## 1 背景と現状

下水道施設の老朽化等に伴う不明水（破損個所や接続部からの雨水や地下水の流入、誤接続による通常の排水以外の浸入水）の増加は、溢水や処理場への流入過多、冠水、道路陥没、管路の不陸による管路寿命の低下、負担金の増加による経済的な圧迫など、様々な課題を抱えている。

## 2 解決したい課題

不明水の発生個所を早期かつ確実に特定したい。

## 3 実現したい未来

- 迅速な不明水対策により、適切な下水道施設の維持管理が図られる。
- 処理場への流入量削減により負担金が軽減する。
- 不明水の減少により将来の排水量を正確に予測でき、適切な下水道経営計画を立てることができる。

## 4 想定する解決策や技術